

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 機械学習を用いた特発性肺線維症患者の運動耐容能・労作時低酸素血症の予測モデル構築と個別リハビリ負荷量の最適化

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 木村智樹

[研究の背景] 特発性肺線維症（IPF）は進行性で予後不良の疾患であり、運動時低酸素血症のため安全な運動負荷設定が難しい。呼吸リハビリテーションは有効とされるが、線維化肺疾患では運動強度や継続方法に関するエビデンスや統一基準は十分ではない。そのため、運動時の低酸素血症を事前に予測し、個別に安全な運動強度を設定する指標の確立が求められている。

[研究の目的] 機械学習を用いて IPF 患者「予測歩行距離」と「予測最低 SpO₂」を予測する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007 年 1 月 1 日～2019 年 9 月 30 日までに共同研究機関で IPF または線維化を伴う間質性肺疾患（ILD）の診断を受け、血液検査、生理機能検査、運動検査が行われた患者を後方視的に検討する。

●研究期間：実施許可から 2030 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

年齢、性別、BMI、診断名、喫煙歴、自覚症状、呼吸機能検査（%FVC, %DLCO, FEV1, FEV1/FVC など）、バイタル（安静時 SpO₂）、6 分間歩行試験（6MWD、最低 SpO₂）、リハビリ評価データ（筋力や呼吸筋力、心肺運動負荷試験などの結果）、PaO₂、治療薬（ステロイド、抗線維化薬など）

生年月日、イニシャル、病理検体番号等の個人を特定しうる情報は使いません。

●利用する検体、カルテ情報の管理

研究分担者が公立陶生病院の診療情報(カルテ)から、後ろ向きに診療情報を収集し、電子カルテ端末内の定型化された電子データベースに入力する。非識別化を行い情報管理室を通じてパスワードのかかる外付け HDD にデータ移動し、名古屋大学メディカル IT センター内で保管する。

[研究組織]

名古屋大学医学部附属病院 メディカルIT センター・講師・古川大記
浜松医科大学 内科学第二講座・助教・穂積宏尚

[個人情報の取扱い]

利用する際には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を判別できるような情報は利用しません。情報は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 木村智樹

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139